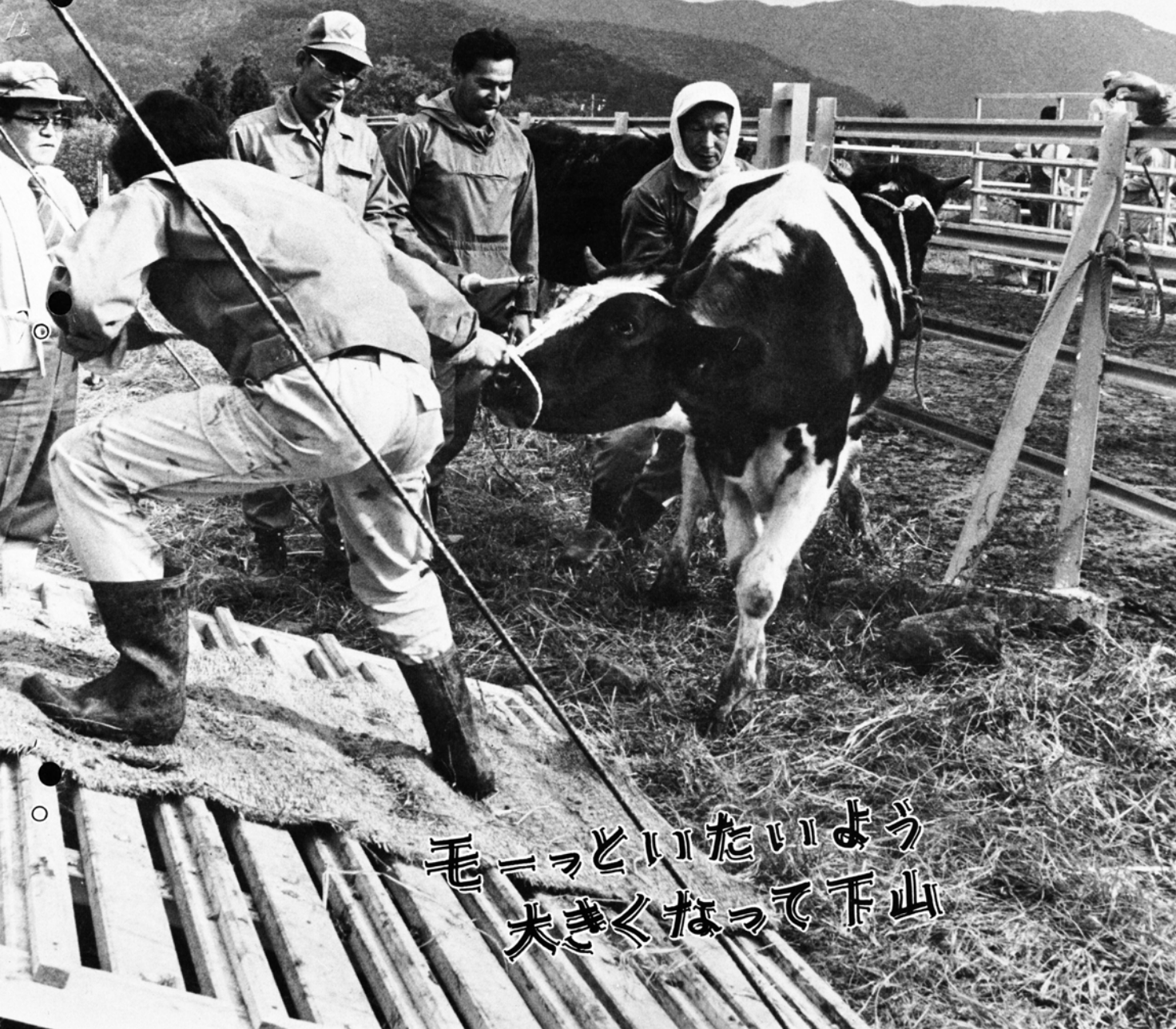


のおお市政

53. 11. 1
No.294



モーっといたいよう
大きくなって下山

紅葉が美しい奥越高原牧場で、10月24日、冬越しのため各農家から預かった育成牛144頭の里帰りがありました。

ことしの5月9日に牧場へ預けられてから168日間、広々とした牧場で育った牛たちは、がっしりした骨格になり、体重も平均約60㎏増えました。

迎えに来た飼主は立派に育った我が家の牛に大喜び。しかし、自動車に乗せる作業になると「モーっといたい」？と剛力を出して飼主や係員を手こずらせる牛が続出し、関係者は「すごい力だ」と汗だくになって誘導していました。

小島豊治場長は「この牧場が県民から酪農の基礎牛づくりの場として

認識され、年々預託牛が増えていることは喜ばしいことです。ことしは日照りが続いたため牧草の生育があまりよくなかったのですが、牛の衛生管理に十分気を配りましたので、乳牛として一番大切な足、腰の丈夫な若牛を育てることが出来ました」と運び去られる1頭1頭に目を細めていました。



生活に潤いを求め

11月3日は文化の日、この日を中心に総合文化祭が催され、日ごろの活動の成果が発表されます。市内には「生活に潤いを求めて」多くの方々がいろいろな文化活動にいそしんでおられます。今回はこれらの中から3グループの活動を紹介します。



ヤッパンマルスを練習する有終南小音楽クラブの児童

幕末の鼓隊行進曲を再現 文明開化を告げたヤッパン・マルス

有終南小音楽クラブ

ヤッパン・マルスとはオランダ語で「日本行進曲」と訳され、嘉永・安政年間に長崎伝習所でオランダの士官により、軍楽（鼓隊）行進曲として伝習生に教えられたものと言われています。

世界に目を開き「北陸の長崎」と言われた大野藩にもこれが伝えられ、安政元年には西洋式の調練が新田野（木本が原）で行われて、鼓隊による大行進がありました。

この様子を伝える「大調練行列図」が今も柳廻社に保存されています。

しかし、この時代の行進曲ヤッパン・マルスとはどんなリズムだったのかは全くわかりませんでした。

この研究が学者の間で続けられ、初めて公表されたのが昭和51年1月NHKの「ヤッパン・マルス」という番組でした。

大野市ふるさと懇話会会長の岩治

勇一さん（65歳、本町、医師）は、この番組を見て、とっさに大野藩の調練図に鼓隊があったことに気づき「このリズムこそが先覚の響きだ。ぜひ大野人の手で再現したいもの」と譜面を手に入れ

るため、各方面に働きかけました。

貴重な学術内容だけに譜面は手に入りませんでした。蘭学資料研究会の友人から録音テープを譲り受けることが出来ました。

たまたま、こじは市民憲章制定記念の文化祭であり、市民憲章の精神には幕末の大野人の進取の気象がうたわれています。

文化祭実行委員会では「市民憲章」の発表会には、これにふさわしいヤッパン・マルスを子供たちの手で再現させたいもの」と、岩治さんからテープを貸りて有終南小学校に依頼。永見藤子、佐々木小恵子両教諭の1週間にわたる困難な採譜作業によって児童に指導出来る譜面が出来上がりました。「タンタン・タカタカタン、タカタカタッタ」と、2拍手の軽快で力強いリズムが、きょうも音楽室から流れ、120年ぶりに大野の文明開化を告げた響きが、子供たちの手によって再現されています。

スマイル

「上水道工事大忙し」
引越し作業大忙し

—— モグラ

有終南小学校の音楽クラブの児童たちが、11月3日の文化の日市民会館で、幻の行進曲と言われた幕末の軍楽行進曲「ヤッパン・マルス」を披露します。



洋太鼓を先頭に行進する大野藩の調練
（柳廻社蔵、安政元年の大調練行列図の一部）

文化活動に励む*

大野市民吹奏楽団

音楽で心のハーモニーを

全日本吹奏楽コンクール出場めざす

フルート、クラリネット、サックス、トランペット、ドラムなどの音が美しいハーモニーとなって流れてくる有終南小学校体育館。

毎週月曜日の夜、この体育館で練習に励んでいるのは、大野市民吹奏楽団（朝日正幸



小学五年生～三十歳台の人が共にレッス
に励む

団長)のみなさんです。団員は小学5年生の児童から30歳台の青年までの30人で、公務員、店員、銀行員、会社員、大学生などと幅広く、女性が9人います。

結成は昨年の3月で、中学校・高校・大学時代に吹奏楽で活躍した人が「市内に同好のグループがないのは寂しい」と五・六人で練習を始めたのが切っ掛けです。

その後次第に団員が増え、楽器の種類も多くなったのですが、悩みの種は練習会場でした。

吹奏楽の楽器は音が大きいために人家の近くでは出来ず、現在の有終南小学校を借りるまでには何度か会場を変え、その度に周囲を回って音の大きさを調べ、近所に迷惑をかけないように気を配ってきました。

これまでは主にポピュラーソング歌謡曲を練習して約50曲のレパートリーをもっており、文化祭やおおの城まつりで市民に発表してきました。

結成して1年半、10月29日には市民会館で団員待望の第一回定期演奏会を開き、文化の香り高いクラシック音楽、ベートーベンのエグモントやパッハのフーガト短調などを披露して好評を博しました。

朝日団長は「吹奏するのが三度の食事よりも好きな者ばかりですから年齢や職業は異なっていますが、音楽をとおして心が1つになります。これからますます練習を積んで、全日本吹奏楽コンクールへの出場を目指します」と意気込んでいます。

和 楽 会

日本舞踊大会に出演

大野音頭を全国に披露

「踊りをとおして人格づくりをし社会のために尽す人間になりましょう」と活動しているグループがあります。

その名は和楽会（会長山奥巖さん 会主松田あい子さん）で、会員は30

～70歳台の商業、主婦、会社員など25人の女性と、会長の山奥さん1人が男性という、風変わりな構成の会です。

和楽会は昭和51年4月、五、六人の踊り好きな婦人で発足して以来、毎週日曜日の夜7～9時終会館に集まって新舞踊、民謡のけいこをしており、これまでに習い覚えた踊りは約100種目になります。

ことしの10月1日には東京で開かれた全日本舞踊連合会全国大会に出演し、北海道から沖縄県までの62団体約700人に混じって「大野音頭」を全国に披露してきました。



美容と健康に最適と張り切る和楽会員

この間、大野和光園の慰問や大野民謡大会（郷土民謡と民謡ショー）に出演、松田あいさんは「引っ込み思案の人たちも踊りをとおして仲間づくりをし、社会性を身につけることが出来ます。また、例会には家事や仕事を離れて踊りに打ち込めるのでストレス解消に役立ちますし、寒いときでも顔に汗するほど体を動かしますので、美容と健康に最適です」と話しています。

11月3日の文化祭「錦秋の譜」には「忠臣蔵松の廊下」で出演するため、会員たちは連日最後の仕上げに励んでいます。

元市長森広治兵衛氏が死去

福祉・教育施設の充実に大きな業績

元大野市長森広治兵衛氏が、10月11日午後7時10分心臓マヒのため福井市順化1丁目、次男正昭氏宅で亡くられました。

享年80歳でした。森氏は上庄村議、上庄村長を経て、昭和33年8月から41年8月まで2期8年間大野市長を勤められました。

在職中には34年の伊勢湾台風、36年の北美濃地震、第二室戸台風、38年の豪雪、40年の風水害

など多くの災害に見舞われましたが、その都度復旧に尽力される等幾多の業績を残され、特に市民会館、市庁舎をはじめ公立保育所・幼稚園学校などを建設して福祉・教育施設の充実に回り、大野市の基礎づくりに努力してこられました。



＜富田地区＞松浦玲子（上野）、光沢晃男（富島）、山村市太郎（上野）
米村喜六（上野）、松田絹子（森目）
田中生（土打）、田中昇（井口）

＜阪谷地区＞小豆弥作（石谷）、金本一三（養道）、前野五郎（森本）
松村長子（南六呂師）、桜田平治（金山）、飯岡彦兵衛（萩ケ野）

＜五箇地区＞林信治（西勝原）、広瀬重孝（西勝原）、岸本ナツエ（西勝原）

今月末に完成する小池のキャンプ場



夢と希望のある農村づくりに

花嫁相談所を開設

毎週土曜日、有終会館で

大野市農業委員会は10月から「農家花嫁相談所」を毎週土曜日午後1～4時有終会館で開いています。

この事業は、青年が夢と希望をもって農業に取り組む条件づくりをす



相談所を利用する市民

るもので、後記の方々が相談員です。

相談所には「農家花嫁(婿)台帳」を備え、相談員が両者の希望に合う方を選んで紹介します。

一身上の秘密は堅く守られますので、結婚相手の紹介を希望される方は、この相談所を利用され、カードの預託をお勧めします。

農業後継者結婚相談員（敬称略）

＜大野地区＞松山定吉（春日）、猪島高（篠座町）、柴田きくの（春日2丁目）、田中新一郎（元町）

＜下庄地区＞竹内善忠（横枕）、長谷川新兵衛（中荒井1丁目）、朝日

善一（西大月）、斉藤志づ子（中挾町）、北川忠夫（菖蒲池）

＜乾側地区＞足利周徳（牛ヶ原）、市地明（牛ヶ原）、馬道恭子（矢飯田治一郎（上丁）

＜小山地区＞永田房子（新庄）、斉藤敏（上舌）、土屋静（阿難祖領家）
飯田なつえ（深井）、畑中吉次郎（上黒谷）

＜上庄地区＞杉川芳子（西山）、安部繁樹（森山）、羽生長（下据）、山田正一（五条方）、北山はまえ（木本）、下島薫（木本）、小山修一（森政領家）、橋本祝男（友兼）

小池でキャンプ場づくり

来年の夏オープン

県は白山国立公園内の小池でキャンプ場づくりをしています。

集落跡の北側 3,000平方メートルの土地を整地してテントサイト20カ所と炊事棟、便所などを造っており、11月末には完成する予定です。総事業費は1,700万円。

小池は野鳥の楽園といわれ、神秘的な青い水をたたえる刈込池、ブナの原生林などがあり、自然を求めるハイカーには魅力ある場所です。

その上白山、赤兎、三ノ峰などの登山ルートにもなっており、ベースキャンプ地としても重要な位置にあります。

来年は管理棟も造られ、体育レクリエーションのキャンプに、また登山基地のキャンプ地として大いに利用されることになります。

六呂師に酪農団地

市内で3番目、200頭飼育

7月から六呂師高原で建設が進められてきた奥越酪農団地が、近く完成します。

この団地は奥越酪農生産組合（稲津孝彦組合長外4人）が、第2次農業構造改善事業の1つとして、円山公園の東側、県道南六呂師下荒井線沿いの県営奥越高原牧場の一角の地約2万平方メートルに畜舎5棟（2607平方メートル）を建て、200頭の乳牛を飼育する計画です。

整地、畜舎・サイロ・たい肥舎・水源施設の建設などの総事業費は2億9,328万円で、11月上旬には北海道から65頭の若牛を購入することになっています。こうして上庄の振興酪農団地（216頭）、富田酪農団地（120頭）に続く市内3番目の畜産団地としてスタートします。



完成間近い奥越酪農団地

越美線、工事線へ格上げ 全線開通へ前進

濃間約28キロメートルが未開通区間になっています。

このため、福井

鉄道建設審議会が11月19日開かれローカル線としては、越美線と宮福線（宮津―福知山）の2線の未開通区間が調査線から工事線に格上げされました。

越美線は現在越美北線（福井―九頭竜湖）と越美南線（美濃太田―北濃）に分かれており、九頭竜湖と北

岐阜両県と関係市町村とで国鉄越美線全通促進期成同盟連合会をつくりこれまで全線開通を国に強く要望してきました。

今回の格上げで、越美線が工事の基本計画に組み入れられたことは、市民の60年間にわたる悲願が実現へ1歩近づいたことになります。

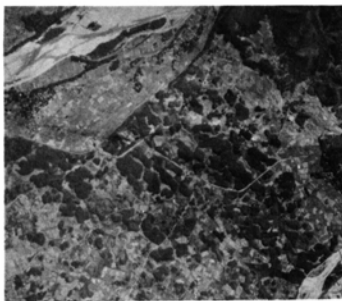


⑧ 塚 原

終戦後、未開の原野が開拓されるまでは、唐谷泥流や巨大な火山岩を含んだ塚の数が約千個もあったといわれ、こんもりと茂った森が随所にあって、夕暮れになるとそこを通るのは怖く、キツネにだまされたという話をよく聞かされました。

戦時中、都会から疎開して来た人や、戦後海外からの引揚者が入植し、ズッと後になって西谷、和泉村からも入植しました。

はじめは機械力もなく、はがねのないくわを手にも、全く慣れない手つきで1日に1坪ぐらゐを開墾しました。近くの農家から種や苗を分けてもらってジャガイモ、アワ、ヒエ、サツマイモを栽培しました。入植当時は食糧と履物の確保がやっとで、あるときは阪谷方



面へ食糧を求める一方、近くにあるリョウバやサツマイモの葉、キツネショウブも食べ、たくさんいたウサギも大切な食糧でした。

昭和22年10月には天皇陛下が行幸され、住民は抱きつくように陛下を取り囲み、その時の感激は今でも忘れられないそうです。

昭和34年には100畝、昭和35年には50畝、さらに昭和46年には県営総合パイロット事業として352畝の水田とかんがい用水、導水路の工事が完成し、現在は新塚原の開拓が着々と進められています。

（T生）

お知らせ

◆戦傷病者、遺族の援護相談

戦傷病者、遺族の援護相談が11月15日（水）午前10時～午後3時有終会館で開かれます。

戦傷病者、戦没者遺族、旧軍人などの恩給、援護、叙位、叙勲、未帰還者の調査等の問題について、県の専門職員が相談に当たりますので、ご利用下さい。

◆年末資金融資の利用を

国民金融公庫は中小企業の年末資金融資をしていますので、11月20日までに申し込んで下さい。

貸し付けには普通貸付（運転資金）食品貸付（食品小売業、食品製造小売業の設備資金）、省力化貸付（省力化の設備資金）があり年利率6.05～7.1%です。

希望の方は、大野商工会議所（6―1230）へお尋ね下さい。

市民カレンダー

11月10日～24日

10 ^金	行政相談 社会保険年金相談 インフルエンザ注射	10.00～15.00 13.00～15.00 13.30～14.00	上庄公民館 大野織物工業組合 下庄公民館	◆造林の補助金申請を 10%以上造林をした人には、国・県から事業費の約50%の補助金が出ます。 造林を済まされた人は、大野市森林組合（有明町、電話6—0005）へ補助金申請して下さい。
11 ^土 世界平和記念日	農業祭 農業結婚相談	9.00～17.00 13.00～16.00	市民会館 有終会館	
12 ^日	農業祭	9.00～17.00	市民会館	
13 ^月	法律相談 胃検診	13.30～16.00 9.00～11.00	商工会議所 有終会館	
14 ^火	インフルエンザ注射 インフルエンザ注射	13.30～14.00 13.30～14.00	上庄小学校 乾側小学校	交通事故相談 10.00～15.00 市役所 胃検診 9.00～11.00 有終会館
15 ^水	行政相談 援護相談 三歳児検診	13.00～16.00 10.00～15.00 13.30～14.30	小山小学校 有終会館 大野保健所	◆16ミリ映写機操作技術認定講習会 ＜日時＞11月21日（火）22日（水） 午前9時～午後5時 ＜場所＞大野市民会館 ＜対象＞一般市民 約50人 ＜申し込み＞11月15日までに市教委 社会教育課（6—1111内線405）へ ＜経費＞400円（テキスト代）
16 ^木	心配ごと相談	9.00～12.00	市役所	
17 ^金	一歳半児検診 くらしの講座	13.00～14.00 13.30～15.30	有終会館 阪谷公民館	
18 ^土	農業結婚相談	13.00～16.00	有終会館	
19 ^日 家庭の日	市民バドミントン大会	9.00～17.00	大野高校	
20 ^月	行政相談 税務相談	10.00～15.00 10.00～16.00	富田公民館 商工会議所	経理相談 9.00～16.00 商工会議所 労働相談 13.00～16.00 商工会議所
21 ^火	インフルエンザ注射 16ミリ映写機講習	13.30～14.00 9.00～17.00	阪谷小学校 市民会館	今月の納税 保 險 税 第3期分 30日までに納めて下さい。
22 ^水	16ミリ映写機講習 インフルエンザ注射	9.00～17.00 13.30～14.00	市民会館 富田小学校	
23 ^木 勤労感謝の日	献 血 献 血	10.00～12.00 12.00～15.00	大野和光園 大野公民館	
24 ^金	社会保険年金相談 インフルエンザ注射	13.00～15.00 13.30～14.30	大野織物工業組合 大野公民館	



山膚に巨大な影を
落とす雲。明滅する
ホタル、実った穂波
それらはついこの間
のように思えるのだ
が▼田んぼは坊主刈りとなり、雲の表情も空の色も変わり、耳元の風もヒンヤリとしみる。ブルーサイドに人影はなく、赤トンボのオブラートのような羽根が、日差しにキラリと光る。大野盆地はいつの間にか秋がたけていた。▼虫の主役も代わった。「夕空晴れて秋風吹き、月影落ちてスズムシ鳴く」だが、スズムシの声は既に聞かれない。コオロギだけが鳴いてくれる▼鳴くというのか、音を出すというのか、いずれにしても悲しいほど、かぼそい音色である。草むらに、時としては台所の隅っこなどで鳴く。ソーツと近寄るとハタと音は途絶える▼そして空中に浮かぶ月はさえる。我が身一人の秋ではないが、物思う季節でもある。宇宙飛行士が月に着陸し、荒涼たる月面を紹介してくれたが、それでも月はロマンチックであり、かぐや姫がほえんでいるかと思いたい▼たえなる虫の音、むれ飛ぶ赤トンボ、ばい煙のまじらない澄んだ大気、さえ渡る月。ビルの谷間に住んでいては、とても味わうことは出来ない▼十一月三日は柳廼社の祭礼。これで、ことしの大野市の祭りは幕をおろし、季節はひそかに晩秋から冬へ移行する。祭りのさんざめきの中で、幼き日の思い出に浸り、菊の香にむせびながら、過ぎて行く晩秋のたたずまいを静かに味わいたい。

発行 福井県大野市 編集 秘書広報課
（電話 ⑥1111） 印刷 柳松浦印刷